

「令和 8 年度 市政報告会・意見交換会」開催結果（菅山地区）

以下のとおり結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日 時 7月24日（金） 午後7時00分～午後8時30分
- (2) 会 場 菅山区公民館
- (3) 内 容 市長からの市政報告・地区からの質問
- (4) 参加人数 43人

2 市長からの市政報告

3 地区からの質問 別紙のとおり

4 当日の様子



令和 8 年度 市政報告会・意見交換会（菅山地区）質問・要望一覧

日時：令和 8 年 7 月 24 日（金）

19 時 00 分～20 時 30 分

場所：菅山区公民館

番号	事 項 名	担当部課
1	油田の里の観光投資について	公園公共建築課
2	河川増水災害対策について	建設課

令和 8 年度 市政報告会・意見交換会
菅山地区（7/24 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	1 油田の里の観光投資について
内 容	昨年から油田の里公園設備や展示に手を加えて頂き、観光客も増加する傾向かと思いますが今後も改修の予定は有るのでしょうか？ 600 人規模の行事では駐車場収容台数が大変不足しましたが、増築工事の可能性はないのでしょうか？ 【担当：公園公共建築課】
回 答	油田の里公園は、日本の太平洋岸唯一の産油地であった特性を生かした整備を行うため、令和 5 年度に観光地域づくり整備事業計画を策定しました。 この 3 箇年の事業計画に沿って、令和 6 年度には、公園とその周辺への多言語看板を設置し、令和 7 年度には、資料館リニューアルや、園路の整備、遊具の更新、たたら施設の改修などを行いました。 最終年度の令和 8 年度は、水車小屋の修復などを行い、事業計画は完了となります。 今年 4 月の桜まつりの際、主催の菅山クラブが近隣事業者に駐車場をお借りいただき、菅山区の皆さまで交通誘導に当たっていただくなど、多くの来場者が参加できるよう御尽力をいただいたことにより、大きな混乱なく、盛況にイベントを開催できましたので、駐車場を増築する計画はありません。

令和8年度 市政報告会・意見交換会 菅山地区（7/24 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	2 河川増水災害対策について
内 容	台風の際やゲリラ雷雨で増水した河川の護岸は、雨量データにマッチしたのでしょうか？ 年々増加する雨量に対応する災害予知的な対策はないのでしょうか？ 災害が起きるまで待つしかないのでしょうか？ 水位計やカメラモニター設備は無理なのでしょうか？ 【担当：建設課】
回 答	現在の河川護岸や治水施設の多くは、建設当時の想定雨量を基準に設計されておりますが、近年はこの想定を上回る線形降水帯やゲリラ豪雨が頻発している状況です。 護岸整備には長期間と莫大な予算が必要であり、インフラの更新・強化が気候変動のスピードに追いついていないため、市では早めの避難行動を促しております。 災害予知的な対策としては、現在、5段階の避難情報基準を設けており、レベル3で高齢者等の避難が開始され、レベル4では避難指示の発令、レベル5では緊急安全確保となり、2階への直上避難など命を守る対策をしていただくことになります。 近年は気象予測も正確になってきており、二級河川萩間川の東中橋、勝間田川の深谷橋、坂口谷川の坂口谷川橋にある監視カメラ及び水位計からの情報や、気象庁からの降雨予測などにより、市から防災情報をお知らせしておりますので、これらをよく聞いた上で早めの避難をお願いします。

「市政報告会・意見交換会（菅山地区）」の当日参加者による質問

※会場での質疑応答を要約してあります。

追加質問 1 ジャンプカードの廃止について

ジャンプカードは廃止されるのか。

【回答者（市長）】

現在、ジャンプカードについては、終了を検討しているとの話は聞いているものの、正式な決定については市にはまだ報告されていない。

今後、カードを終了することとなった場合には、ポイントが付与される「まきペイ」への移行を検討することになると考えている。また、榛原地区の「愛カード」についても終了する方向で検討されていると聞いており、可能であれば「まきペイ」に統合していければと考えている。

今後、商工会と協議しながら具体的な対応を検討していくことになる。現時点では終了時期などは正式に決まっていないため、決定した場合には、市民に混乱が生じないように、十分な周知・情報発信を行っていく必要がある。

追加質問 2 波乗りレモンの販売場所について

波乗りレモンを購入したいが、市内スーパーで見かけない。

【回答者（市長）】

波乗りレモンについては、現在、市内のスーパーでは取り扱っていないと思われるが、道の駅では販売されている。

今後、栽培面積が増えて生産量が確保できれば、市内のスーパーなどへの出荷・販売も進めていきたいと考えている。現在、栽培面積の拡大を進めているため、今後の販売拡大に期待していただきたい。

追加質問 3 物価高騰対応生活応援事業事務費について

中に入っているまきペイギフト券に比べて封筒が大きすぎて送料が高くなり、事務費がかかりすぎていると思う。

【回答者（産業経済部長）】

まきペイについては金券として取り扱うことから、安全性を確保する必要がある。そのため、市役所や商工会まで受け取りに来ていただくのではなく、郵送による手渡

しでの配布を基本とする考えである。

利用者には不便をおかけする面もあるが、金券の安全な取り扱いのための対応であることをご理解いただきたい。

【回答者（市長）】

金券を普通郵便で郵便ポストに投函する形で送付すると、第三者に持ち去られるなど、配達の有無をめぐるトラブルが生じる可能性があるため、本人に直接手渡す方法で郵送している。

そのため、一定の事務費が発生するが、実質的には現金を送付する場合と同様、安全性を確保するために必要な経費である。

商工会などへ直接受け取りに来てもらう方法も考えられるが、その場合には利用者自身の交通費や時間的負担が生じる。こうした負担も考慮し、現在の方法が利用者にとっても総合的に負担の少ない方法として実施している。

追加質問 4 外国人住民への生活ルールの周知について

外国人労働者やその家族の増加に伴い、ごみ出しのルールについて、現場でさまざまな問題が見られる。具体的には、指定されたごみ袋に分別されていない異物が入っていたり、決められた収集日以外にごみが出されることで、収集現場が混乱するケースがある。

外国人住民の転入・在留手続きなどには市役所が関わっていることから、ごみの分別方法や収集曜日など、日常生活に必要な基本的な情報について、現在どのような方法でオリエンテーションや周知を行っているのか確認したい。

【回答者（市長）】

外国人住民の転入時には、窓口において生活に必要な事項について説明を行っている。また、市役所 5 階には外国人職員を常時 1 人配置し、外国人住民の困りごとや相談に対応している。

さらに、数年前から「初めての日本語教室」を開催し、日本語の学習と併せて、ごみの出し方や救急車の呼び方、防災など、日本で生活する上で必要な基本的なルールや生活習慣について学ぶ機会を設けている。教室は年間 10 回程度のコースで、ボランティアがマンツーマンで支援し、毎年約 50 人が参加している。

また、外国人労働者を多く雇用している事業所を市でも把握しており、事業所を通じて、ごみ出しのルールや日本語教室への参加について周知している。

一方で、こうした情報が外国人住民全体に十分行き渡らない面もあるため、今後も事業所等との連携を図りながら、より丁寧な周知に取り組んでいく必要がある。

【質問者】

外国人住民と地域住民が互いに理解し合うには、まだ時間がかかると考えている。

現在行われている外国人向けのオリエンテーションについては、地域のしきたりや生活ルールを理解してもらうためにも重要である。

自身も３年目となる外国人向けのオリエンテーションのアシスタントとして参加しているが、現場で最も大きな課題となっているのがごみ出しの問題である。ごみは日常生活に直結する身近な問題であるため、地域としても引き続き理解を深めるための取組を進めていきたい。

また、市役所に外国人職員を常駐させ、外国人住民の相談等に対応する体制を整えたことは大きな一歩と評価しており、今後もオリエンテーションなどを通じて、ごみ出しをはじめとする生活ルールの周知を丁寧に進めていきたい。